

平成30年度



# 学校だより

伸びよう 豊かに たくましく ~学ぶ喜びにあふれた学校をめざして~

平成30年11月28日

横浜市立高田小学校

## 12月号

### 「友達のよいところに気づく大切さ」

学校長 金子 一雄

季節の移り変わりは早いものです。11月の半ばから急に朝晩の冷え込みを感じる日が多くなりました。この時期、いつもなら紅葉する銀杏やもみじですが、台風による塩害の影響でしょうか、半分枯れたような葉が多く見られ紅葉とはほど遠い姿が残念です。それでも、街中の風景はすっかり晩秋の気配を漂わせています。晴れた朝には、西に雪の帽子をかぶった富士山がきれいに見える日が増えたことから、間近に迫りつつある冬の到来を感じます。

これから本格的な寒さが始まり、風邪も流行ってくることと思います。今年はずでに区内の小学校でインフルエンザによる学級閉鎖が出ています。本校においても、吐き気・嘔吐・熱等で欠席する児童が少なからず出ています。今後、少しずつ風邪の症状を伴っての欠席が増えることが予想されます。風邪予防のため「手洗い・うがい」を励行し、ご家庭でも健康管理に十分注意してください。

さて、12月3日～9日は人権週間です。先日の朝会では「自分にやさしくするのと同じように、他の人にもやさしくしよう」という話をしました。人にやさしくするとは、「自分がされていやなことは、他の人にもしない。」「困っている人を見たら、その人の気持ちになって考えてあげる。」などいろいろな手立てが頭に浮かんでできますが、その人の思いや気持ちを、大切にすることではないでしょうか。

「世の中で一番難しいことは、自分をみつめることである。」「世の中で一番簡単なことは、人（他人）を批判することである。」という言葉聞いたことがあります。この二つの言葉は、表裏の関係にあります。ともすると、自分の失敗をまわりの人の責任にしてしまうことがあります。しかし、失敗してしまったのは自分の責任であることを自覚しなければなりません。同様に、人にやさしくするためには、他の人の短所や欠点、上手にできないことなどを探すのではなく、他人の長所や良いところをみつけてあげることが大切だと思います。そのやさしさは、実は自分にも返ってくるものです。

やさしくすることによって、相手との信頼関係が生まれ、協働することができます。この関係が多い人ほど、人生が広がり、より充実したものになるのではないのでしょうか。相手の様子や行動を見て、その人の良いところを探す姿勢が基本としてあれば、自分にとってもよりよい生き方ができるのではないのでしょうか。「あら探しより、良さ探し」これを自分のものにしていくことが、多くの人たちを充実した人生にしていくことと思います。

新しい年をもうじき迎えます。誰もが多くの人と協働できる社会にしていきたいです。